



JAPANESE PATENT OFFICE



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 08317425

(43)Date of publication of application: 29.11.1996

(51)Int.Cl.

H04N 13/02
H04N 5/225

(21)Application number: 07121945

(22)Date of filing: 19.05.1995

(71)Applicant:

OLYMPUS OPTICAL CO LTD

(72)Inventor:

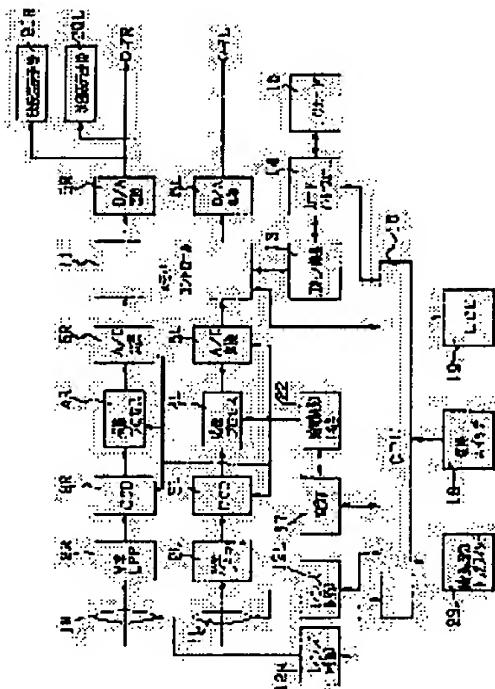
OGAWA NORITAKA

(54) ELECTRONIC CAMERA

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide an electronic camera capable of photographing a stereoscopic still picture and an ordinary still picture and recording image information, etc., in a form in which it is mixed in a recording medium.

CONSTITUTION: This camera is equipped with first and second photographing optical systems arranged in parallel with the horizontal direction of a camera main body and capable of making object light incident simultaneously, first and second image pickup means (CCDs 3L, 3R) which output respective object light image-formed by the first and second photographing optical systems by converting to image signals corresponding to the first and second photographing optical systems, a stereoscopic still picture photographing mode in which image signals in accordance with an image for right eye and the one for left eye as a complementary pair capable of comprising the stereoscopic still picture by driving both the first and second image pickup means are outputted from respective image pickup means, an ordinary photographing mode in which an ordinary image signal is outputted by driving either of the first and second image pickup means, and a mode switching means (changeover switch 18) which sets by switching the stereoscopic photographing mode and the ordinary photographing mode.



特開平8-317425

(43)公開日 平成8年(1996)11月29日

(5) Int. Cl.*	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N	13/02		H 0 4 N	
5/225			5/225	Z
	審査請求	未請求	請求項の数 9	OL
				(全20頁)

著者請求 未請求 請求項の数 9 OL (全20頁)

(21) 出題番号 特願平7-121945

(71)出願人 000000376

(22) 出題日 平成7年(1995)5月19日

東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
(72) 発明者 小川 能孝

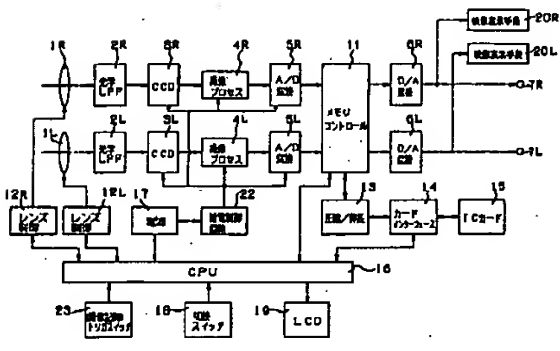
東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号 オリンパスビル5F
ハス光学工業株式会社内
(74) 代理人 井理士 伊藤 進

(54) 【発明の名称】 電子カメラ

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、立体静止画像と通常静止画像の撮影を行なうことができ、画像情報源を記録体に存在する形で記録する電子カメラを提供する。

【構成】カメラ本体の水平方向に並置され、被写体光を同時に入射可能とする第1、第2の撮影光学系と、第1、第2の撮影光学系にそれぞれ被写体光を画像信号に変換して出力する第1、第2の撮像手段（CCD3又はCMOS3）と、第1、第2の撮像手段を共に駆動して立体静止面を構成し得る相補的な対としての左眼用画像とを出力する立体静止面撮像モードと、第1、第2の撮像手段のうちの少なくともいずれか一方の撮像手段を駆動して通常の画像信号を出力する通常撮影モードと、立体静止面撮像モードと通常撮影モードとを切り換えて設定するモード切替設定手段（切換スイッチ4）とを具備する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラ本体の水平方向に並設され、被写体光を同時に入射可能とする第1および第2の撮影光学系と、

上記第1および第2の撮影光学系に对应して、この第1および第2の撮影光学系により結像されたそれぞれの被写体光を画像信号に変換して出力する第1および第2の撮像手段と、
上記第1および第2の撮像手段を共に駆動して立体静止画像を構成し得る相補的な対としての左眼用画像および右眼用画像に对应した画像信号をそれぞれの上記各撮像手段より出力する立体静止画像撮影モードと、

通常の撮影モードと上記通常撮影モードとを切り換えて設定するモード切替設定手段と、具備したことを特徴とする電子カメラ。

【請求項2】 立体静止画を構成し得る2つの相補的な画線信号の各々を、2:1インターレース画線信号における1フィールド画線にそれぞれ対応させており、

ルド画像信号を記録に連する形態に処理して適用された記録体に記録を行なう記録手段と、

が設定されるときには、上記記録手段が上記立体静止画像を構成した得たる各のフレーム下面像信号と共に、そのフレーム下面像の生立識別情報、奇数ないし偶数フレーム下面像の生立識別情報およびいずれのフレーム下面像と相補的対をなすかの対情報を出して記録するように制御する記録制御手段と、

上記記述体から立止静止画を抽出し得る相補的対をなす2つのフレームド画像番号を構成された映像表示手段に、立止静止画とて表示するべく併せて記録された上記左記右側動情報、フレームド奇異識別情報および動情報に基づいて再生出力する再生手段とを、さらに具備したこととを特徴とする請求項1に記載の電子カメラ。

【請求項3】 上記モード切替設定手段によって立体静止面撮影モードが設定されたときには、上記記録制御手段は、さらに、

上記第1および第2の撮像手段から選択して出力される立体像正画を構成するための各「フィールド下面像のうちいすずれのフィールド下面像も奇数フィールドでない偶数フィールドに同じく限定したものを記録対象画像」として記録を行なうように制御することを特徴とする請求項2に記述の電子カメラ。

【開列項4】 カメラ本体の水平方向に並置された第1および第2の映像表示手段を、さらに具備し、上記再生手段は、選択された再生すべきフレーム画像が立体的止画を構成し得るフレーム画像の一方に該当

(2)

特開平8-317425

するものであるときには、対となるフイールド面像と共に、両フイールド面像を対応する上記第1および第2の映像表示手段にそれぞれ出力して観衆者に立体静止面として表示するようにしたことを特徴とする請求項2または請求項3に記載の電子カメラ。

【請求項6】 上記再生手段は、追来された再生すべきフレーム画像が通常撮影モードに立つてフレームドレミ画像に該当するものであるときは、当該フレームドレミ画像を上記第1および第2の映像表示手段の双方に出力表示するようにしたことを特徴とする請求項4に記載のビデオカメラ。

【請求項6】 きアイルランド画像が立体静止画像を構成し得るアイルランド画像の一方に該当するものであっても、当該アイルランド画像を通常の再生出力として設定する手段を、さらに具備したことを特徴とする請求項4または請求項5に記載の電子カメラ。

【請求項7】 上記再生手段によって再生出力されている画像が立体静止画像かつ通常静止画像であることを検知する検知手段を、さらに具備したことを特徴とする請求項2、3、4、5または請求項6に記載の電子カメラ。

【請求項8】——上記モード切替設定手段によって立休静止画面撮影モードが設定されたときには、上記第1および第2の撮像手段に対して共に給電を行ない、通常撮影モードが設定されたときには、少なくともいずれか一方の撮像手段に対して給電を行うようにする給電制御手段を、さらに具備したことを特徴とする請求項1に記載の電子カメラ。

【請求項9】 上記第1または第2の撮影光学系のうち一方の撮影光学系に対して自動焦点調節を行なうための自動焦点調節手段を、さらに具備し、上記自動焦点調節手段によって得られた被写体までの距離に関する情報に基づいて、他方の撮影光学系の焦点調節を行なうようにしたことを特徴とする請求項1に記載の電子カメラ。

【発明の詳細な説明】

【産業上の利用分野】この発明は、電子カメラ、詳しくは立体撮影と通常撮影とを行なうことができると共に、撮影時に与えられる画像情報等をICメモ리카ード等の記憶媒体に記録するようにした電子カメラに関するものである。

[0002]

写像素を撮像手段によって画像信号等として出力し、上記撮像素子と出力された画像信号等と撮像情報等の画素情報等を撮像手段から出力された画像信号等と撮像情報等の画素情報等を撮像手段によって記憶体等に記録するようにした、いわゆる、デジタル電子スチルカメラ (Digital Electronic Still Camera; 以下、電子カメラという。)

においては、上記画像情報等を記録する記録媒体として、例えば、ICメモリカード、ハードディスク等を適用するようにしたもの、種々提案されており、また、実用化がなされている。

【0003】一方、所定の間隔をあけて配置された2台の撮影用カメラによって同一被写体に対して異なる角度から同時に撮影を行い、これによって得られた一対の画像情報等を各別に記録媒体に記録すると共に、この一対の画像情報等を再生する際には、左右の眼に対して上記一対の画像情報等をそれぞれ独立させて再生するようにすることで立体映像を得るようにした、立体撮影装置および立体映像再生装置等について、種々の提案がなされているが、このような立体撮影を行なうための立体撮影装置において、例えば、一般的な通常撮影を行ないたい場合や、通常撮影を行なっている途中から立体撮影を行ないたいというような場合も考えられる。

【0004】また、上述のような立体撮影装置および立体映像再生装置等については、さらに高精度の立体撮影を行なうことができ、より高画質の立体映像の撮影および再生を行なうようにするための要求が考えられる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところが、現在ところ、立体撮影と通常撮影とを行なうことによって得られるそれぞれの画像情報等を単一の記録媒体に格納する形で記録するようにした電子カメラについての提案はなされていない。

【0006】また、電子カメラにおいて、立体撮影と通常撮影とを行なうことによって得られる画像情報等を記録媒体上に格納する形での情報記録を行なうようにした場合には、左眼用および右眼用の一対の画像情報の上下方向のズレが、撮影を行なう際に得られるフィルム画像の歪曲によって顕著となってしまうという問題が生じる。

【0007】本発明の目的は、立体静止画像と通常静止画像の情報記録を選択的に行なうことができると共に、これによる各画像情報等を単一の記録媒体において格納する形で記録を行なうことができるようにした電子カメラを提供することにある。

【0008】また、他の目的として、立体静止画像の撮影によって得られる左眼用と右眼用の一対の画像情報等について、より高精度で良好な立体静止画像を得るようにした電子カメラを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段および作用】本発明による電子カメラは、カメラ本体の水平方向に並設され、被写体光を同時に入射可能とする第1および第2の撮影光学系と、上記第1および第2の撮影光学系に対応した、それぞれの第2の撮影光学系により結像されたそれぞれの被写体光を画像信号に変換して出力する第1および第2の撮像手段と、上記第1および第2の撮像手段を共

(3)

特開平8-317426

に駆動して立体静止画像を構成し得る相補的な対としての左眼用画像および右眼用画像に対応した画像信号をそれぞれの上記各撮像手段より出力する立体静止画像撮影モードと、上記第1および第2の撮像手段のうち少なくともいずれか一方の撮像手段を駆動して通常の画像信号を出力する通常撮影モードと、上記立体静止画像撮影モードと上記通常撮影モードとを切り換えて設定するモード切換設定手段とを具備したことを特徴とする。

【0010】本発明による電子カメラは、立体静止画像を構成し得る2つの相補的な画像信号の各々を、2:1インターレース画像信号における1フィールド画像にそれぞれ対応させており、上記第1および第2の撮像手段から出力された各フィールド画像信号を記録に導く形態に処理して適用された記録媒体に記録を行なう記録手段と、上記モード切換設定手段によって立体静止画像撮影モードが設定されたときには、上記記録手段が上記立体静止画像を構成し得る各々のフィールド画像信号と共に、そのフィールド画像の左右識別情報、奇数ないし偶数フィールド識別情報およびいずれのフィールド画像と相補的対をなすかの対情報と併せて記録するように制御する記録制御手段と、上記記録媒体から立体静止画像を構成し得る相補的対をなす2つのフィールド画像信号を適用された映像表示手段に立体静止画像として表示するべく併せて記録された上記左右識別情報、フィールド奇偶識別情報および対情報に基づいて再生出力する再生手段とを、さらに具備したことを特徴とする。

【0011】本発明による電子カメラは、上記モード切換設定手段によって立体静止画像撮影モードが設定されたときには、上記記録制御手段は、さらに、上記第1および第2の撮像手段から連続して出力される立体静止画像を構成するための各フィールド画像のうちいずれのフィールド画像も奇数フィールドないし偶数フィールドに同じく設定したものを記録対象画像として記録を行なうように制御することを特徴とする。

【0012】本発明による電子カメラは、カメラ本体の水平方向に並設された第1および第2の映像表示手段を、さらに具備し、上記再生手段は、選択された再生すべきフィールド画像が立体静止画像を構成し得るフィールド画像の一方に該当するものであるときには、対応するフィールド画像と共に、両フィールド画像を対応する上記第1および第2の映像表示手段にそれぞれ出力して観察者に立体静止画像として表示するようにしたことを特徴とする。

【0013】本発明による電子カメラは、上記再生手段は、選択された再生すべきフィールド画像が通常撮影モードに基づくフィールド画像に該当するものであるときには、当該フィールド画像を上記第1および第2の映像表示手段の双方に出力表示するようにしたことを特徴とする。

50

【0014】本発明による電子カメラは、上記再生手段

は、選択された再生すべきフィールド画像が立体静止画像を構成し得るフィールド画像の一方に該当するものであるも、当該フィールド画像を通常の再生出力として設定する手段を、さらに具備したことを特徴とする。

【0015】本発明による電子カメラは、上記再生手段によって再生出力されている画像が立体静止画像が通常静止画像かを観察者に識別させるための表示手段を、さらに具備したことを特徴とする。

【0016】本発明による電子カメラは、上記モード切換設定手段によって立体静止画像撮影モードが設定されたときには、上記第1および第2の撮像手段に対して共に給電を行ない、通常撮影モードが設定されたときには、少なくともいずれか一方の撮像手段に対して給電を行なうようにする給電制御手段を、さらに具備したことを特徴とする。

【0017】本発明による電子カメラは、上記第1または第2の撮影光学系のうち一方の撮影光学系に対して自動焦点調節を行なうための自動焦点調節手段を、さらに具備し、上記自動焦点調節手段によって得られた被写体までの距離に関する情報に基づいて、他方の撮影光学系の焦点調節を行なうようにしたことを特徴とする。

【0018】

【要図例】以下、図示の要図例によって本発明を説明する。図1は、本発明の一実施例の電子カメラの概略構成を示すブロック構成図である。

【0019】図1に示すように、この一実施例の電子カメラはその内部において、被写体光を結像させる左眼用、右眼用撮影レンズ1L、1R、および、左眼用、右眼用光学ロープフィルタ(LPF)2L、2R等によって構成されており、カメラ本体の水平方向に並設され、被写体光を同時に入射する第1、第2の撮影光学系と、この第1、第2の撮影光学系に対応して、これらにより結像されたそれぞれの被写体光を電気信号等の画像信号に変換して出力する第1、第2の撮像手段である第1、第2の撮像素子(CCD)3L、3Rと、このCCD3L、3Rによって出力された画像信号の信号処理を行なう撮像プロセス4L、4Rと、この撮像プロセス4L、4Rによって信号処理されたアナログ信号の画像情報等をデジタル信号の画像情報等に変換するA/D(アナログ/デジタル)変換(回路)5L、5Rと、このA/D変換(回路)5L、5Rによって変換されたデジタル信号の画像情報を一時的に記録し、また、これを再生出力する再生手段であるメモリコンソール11等の撮影等に関する構成部材が配設されている。

【0020】また、上記メモリコンソール11に一時的に記録されたデジタル信号の画像情報等について、圧縮または伸長等の信号処理を行なう圧縮/伸長(回路)13と、この圧縮/伸長(回路)13によって信号処理された画像情報等を記録するために適用された増設自在の記録媒体であるIC(メモリ)カード15と、このIC

カード15とこの電子カメラ本体とを接続するカードインターフェース14等の記録等に関する構成部材が配設されている。なお、この一実施例においては、上記圧縮/伸長(回路)13を画像信号を記録に導く形態に処理するための記録手段の一部として構成してある。

【0021】そして、再生手段である上記メモリコンソール11に一時的に記録されたデジタル信号の画像情報等をアナログ信号の画像情報等に変換するD/A(デジタル/アナログ)変換(回路)6L、6Rと、このD/A(回路)変換6L、6Rによって変換されたアナログ信号の画像情報等をそれぞれ独立して表示し、この電子カメラ本体の水平方向に並設された第1、第2の映像表示手段20L、20Rと、上記画像情報等を映像信号として出力する出力手段である外部(ビデオ信号)出力端子7L、7R等の再生等に関する構成部材が配設されている。

【0022】なお、上記映像表示手段20L、20Rについては、記録された画像情報等の表示を行なうものであると共に、撮影記録時において被写体等を捉えフレーミング等を行なうための電子ビューファインダでもある。

【0023】さらに、この電子カメラ全体を制御するCPU等からなる制御手段16と、上記CCD3L、3R、撮像プロセス4L、4R、A/D変換(回路)5L、5R等に給電を行なう電源部17と、この電源部17の給電制御を行なう給電制御手段である給電制御回路22と、上記第1、第2の撮影光学系の駆動制御を行なうレンズ制御(回路)12L、12R等の制御等に関する構成部材と、「立体静止画像撮影モード」と「通常撮影モード」等を切り換えて設定するモード切換設定手段(切換手段)である切換スイッチ(SW)18と、撮影記録を行なう際に撮影開始信号であるトリガー信号を発生させる撮像記録手段であるトリガースイッチ(SW)23と、電子カメラの状態や撮影条件等の情報等を表示するために、例えば、液晶ディスプレイ(LCD)等からなる表示手段19等の操作部材等が配設されている。

【0024】そして、上記一実施例の電子カメラにおいては、上記第1、第2の撮像手段であるCCD3L、3Rを共に駆動して、立体静止画像を構成し得る相補的な対としての左眼用画像および右眼用画像にそれぞれ対応した画像信号をそれぞれの上記各CCD3L、3Rより出力し、立体静止画像を撮影することができ、立体静止画像撮影モードを有すると共に、上記第1、第2の撮像手段であるCCD3L、3Rのうち少なくともいずれか一方の撮像手段を駆動して通常の画像信号を出力し、通常静止画像の撮影を行なうことができる「通常撮影モード」とを有している。

【0025】また、モード切換設定手段(切換手段)である上記切換SW18によって切り換え動作を行なうことで、撮影記録を行なう場合には、「立体静止画像撮影

(4)

特開平8-317426

7

ード)と「通常撮影モード」を任意に設定することができ、再生(表示)を行なう場合には、「立体静止面再生モード」と「通常再生モード」を任意に設定することができるとなっている。

【0026】このように構成された上記一実施例の電子カメラの動作について、以下に簡単に説明する。上記電子カメラによって撮影記録が行なわれる場合においては、まず、撮影動作に先立って、「立体静止面撮影モード」で撮影するが、「通常撮影モード」で撮影するかの選択を、上記切換SW18の切り換え操作によって行ない、いずれか一方の撮影モードに決定する。

【0027】次に、上記トリガー-SW23を操作することによって、撮影開始信号であるトリガー-信号を発生させる。すると、このトリガー-信号は、上記制御手段16に出力されて、これに基づいて、上記電子カメラは撮影動作を開始する。

【0028】即ち、上記制御手段(CPU)16は、上記レンズ制御(回路)12L、12Rを介して上記左眼用、右眼用レンズ1L、1Rを制御し、例えば、焦点距離、歪曲補正などの動作を行なわせて、所望の被写体光を所望の撮影条件等によって上記第1、第2の撮影光学系に入射させる。

【0029】上記第1、第2の撮影光学系に同時に入射し、これによって結像された被写体光は、上記C/D3L、3Rによって画像信号に変換され、上記映像プロセッサ4L、4Rに出力される。この映像プロセッサ4L、4Rにおいては、画像信号に対するガンマ(γ)補正等の信号処理がなされ、この信号処理された画像情報(アナログ信号)等は、上記A/D変換(回路)6L、6Rにおいて、デジタル信号の画像情報等に交換されて、上記メモリコントロール11に一時的に記録される。

【0030】上記メモリコントロール11に一時的に記録されたデジタル信号の画像情報等は、上記ICカード15等に記録されるが、または、上記映像表示手段20L、20Rに表示されたり、上記外部出力端子7L、7Rに出力されて、これに接続された外部表示装置(図示せず)等によって表示されることとなる。

【0031】ここで、上記画像情報等がICカード15に記録される場合の動作について、以下に説明する。上記画像情報等がICカード15に記録される場合には、まず、上記メモリコントロール11に一時的に記録された画像情報(デジタル信号)等が、上記メモリコントロール11から、上記圧縮/伸長(回路)13に出力される。すると、この圧縮/伸長(回路)13において、上記画像情報等のデータ圧縮処理が行われ、記録に適する形態に処理されて上記カードインターフェース14に出力される。

【0032】そして、上記カードインターフェース14を介して、上記ICカード16に対して記録されることとなる。なお、このとき上記ICカード16に記録され

8

る画像情報等については、撮影時に設定された撮影モードが「立体静止面撮影モード」であった場合には、左右一対の画像情報、つまり、立体静止面を構成し得る2つの相補的な画像信号が同時に記録される一方、撮影時に設定された撮影モードが「通常撮影モード」であった場合には、通常静止画像の画像情報が記録されることとなる。

【0033】次に、上記画像情報等を映像表示手段20L、20R等に対して再生(表示)する場合の動作について、以下に説明する。

【0034】上記画像情報等を映像表示手段20L、20R等に対して再生(表示)する場合には、まず、上記メモリコントロール11に一時的に記録されたデジタル信号の画像情報等が、上記D/A変換(回路)6L、6Rに出力されて、このD/A変換(回路)6L、6Rによって、アナログ信号の画像情報等に交換される。

【0035】そして、上記映像表示手段20L、20Rに対して出力され、この映像表示手段20L、20Rにおいて表示されるか、または、上記外部出力端子7L、7Rに対して出力されて、これに接続された外部表示装置等によって表示されることとなる。

【0036】また、上記ICカード16に記録されている画像情報等を上記映像表示手段20L、20R等に再生(表示)する場合には、まず、上記画像情報等が、上記ICカード16からカードインターフェース14を介して、上記圧縮/伸長(回路)13に出力される。

【0037】上記ICカード16に記録されている画像情報等は、これを記録する際に、上記圧縮/伸長(回路)13において、その記録媒体に記録するのに適した形態に処理されている。即ち、データ圧縮処理がなされているものである。従って、これを圧縮/伸長(回路)13によって、逆にデータ伸長処理を行ない再生に適する状態に復元させた後、上記メモリコントロール11に対して出力し、このメモリコントロール11に一時的に記録する。

【0038】上記メモリコントロール11に書き込まれた画像情報等は、上述のように、上記D/A変換(回路)6L、6Rにおいてアナログ信号の画像情報に変換されて、上記映像表示手段20L、20Rによって表示されるか、または、映像情報として上記外部出力端子7L、7Rに出力され、これに接続された外部表示装置等によって表示されることとなる。

【0039】なお、このとき再生(表示)される画像情報等は、撮影時の撮影モードが「立体静止面撮影モード」に設定されていた場合に得られた画像情報等である場合には、左右一対の画像情報等が同時に再生されることにより、立体静止画像の再生(表示)が行なわれる一方、撮影時の撮影モードが「通常撮影モード」に設定されていた場合に得られた画像情報である場合には、通常静止画像の画像情報の再生(表示)が行なわれることと

9

なる。

【0040】このような構成とすることにより上記一実施例によれば、上記切換SW18によって「立体静止面撮影モード」と「通常画像撮影モード」とを任意に切り換えて撮影モードを設定し、撮影記録を行なうことで、立体静止画像と通常静止画像とを選択的に撮影記録することができるとなっている。

【0041】ところで、電子カメラにおいて、「立体静止面撮影モード」に設定して撮影記録が行なわれ、これによって得られた左右一対の2つの画像情報を再生する場合に、立体効果は自然に再現されるようにした良好な立体静止画像として再生するためには、左右一対の2つの画像情報を、これを観察(鑑賞)する観察(鑑賞)者の左右の眼に正確に対比させる必要があり、例えば、上記左右一対の画像情報が、観察者の左右の眼に対して逆転して表示されるような場合には、視覚的に不自然な画像として表示され、良好な立体静止画像として再生されないこととなる。

【0042】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、立体静止画像を再生(表示)する場合において、常に正常な良好な立体静止画像として再生(表示)されるようにするために、立体静止面を構成し得る2つの相補的な画像信号の各々を、2:1インターレース画像信号における1フィールド画像にそれぞれ対比させるようになっている。

【0043】そして、モード切換設定手段である上記切換SW18によって「立体静止面撮影モード」が設定されたときに得られる左右一対の2つの画像情報を上記ICカード16に記録するときには、上記記録手段であるカードインターフェース14が、上記立体静止面を構成し得る各々のフィールド画像信号と共に、例えば、左眼用の画像情報であるが、右眼用の画像情報であるかどうか等の識別するための情報、即ち、上記ICカード15から立体静止画像を構成し得る相補的対をなす2つのフィールド画像信号を適用された上記映像表示手段20L、20Rに立体静止面として表示するための左右識別情報等を、上記フィールド画像の画像情報と併せて記録するようにしている。従って、上記ICカード16に記録される立体静止画像の画像情報には、上記左右識別情報が必ず伴われるように構成されている。

【0044】また、通常静止画像のフィールド画像撮影が行なわれる場合には、1フィールドに1つの画像情報が記録されることとなるが、このとき、インターレース画像信号出力となる場合には、奇数および偶数の2つのフィールド画像情報が存在することとなる。

【0045】このような、奇数および偶数の2つのフィールド画像情報において、奇数2つのフィールドについての管理がなされるに記録されているとすると、この画像情報について再生を行なう場合には、奇数フィールド画像と偶数フィールド画像とのいずれか一方が再生さ

10

れることとなる。

【0046】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、撮影が行なわれた場合に得られる画像情報等を記録する際に、その画像情報等が奇偶どちらのフィールド画像によって記録されたものであるかの判別ができるように、奇偶識別情報等を画像情報に対比させて再生するようにしている。従って、上記ICカード16に記録される画像情報には、上記奇偶識別情報が必ず伴われるように構成されている。

【0047】また、上述したように、上記電子カメラは、「立体静止面撮影モード」と「通常撮影モード」とを、上記切換SW18の切り換え操作によって、任意に選択して撮影を行なうことができるようになっている。従って、上記ICカード16内に記録される画像情報等については、立体静止画像と通常静止画像との画像情報等が混在することとなる。

【0048】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、上記ICカード16に記録されている画像情報等を再生するときに、電子カメラ側において再生する所望の画像情報等が立体静止画像である場合には、いずれのフィールド画像と相補的対をなすかの対情報に画像情報に対応させて記録するようになっている。従って、上記ICカード16に記録される立体静止画像の画像情報には、上記対情報が必ず伴われるように構成されている。

【0049】図3は、上記電子カメラに適用される記録媒体であるICカード16内における画像情報等の記録状態を概念的に示す図である。

【0050】図3に示すように、上記ICカード16内においては、各画像情報フレイムA1、A2、A3、A4、A5、A6、A7、A8……A_nは、それぞれ規格情報部、情報部B等からなるヘッダ部と、画像情報部C等によって構成されている。

【0051】上記ヘッダ部を構成する規格情報部に、例えば、静止面を記録するための統一規格情報等が記録されており、上記情報部Bには、対応する画像情報部Cに関する各属性の情報、例えば、撮影条件、撮影モード、左右識別情報、奇偶識別情報、対情報等の、各画像情報部Cに対応する固有の情報等が記録されている。

【0052】なお、上記ICカード16において記録することができるとなっている画像情報、即ち、記録される画像情報フレイムA1、A2、A3……A_nの数は、上記ICカード16の記憶容量、または、上記圧縮/伸長(回路)13によって圧縮される際の圧縮レベルと画像情報等の容量によって変動するのはいずれでもない。

【0053】図3は、上記電子カメラのICカード16に対して画像情報等を記録した際の記録状態を概念的に例示した図である。

【0054】図3に示すように、ここでは、上記ICカード16内に各画像情報フレイムB1L、B1R、B2L、B2R、B3、B4、B5、B6L、B6R、B

7, B8L, B8Rの画像情報等が記録されているものとする。

【0066】上記画像情報フイルムうち、立体静止画像の画像情報フイルムは、図3において点線で囲んで示した8つのフイルムB1L, B1R, B2L, B2R, B6L, B6R, B8L, B8Rであり、また、通常静止画像の画像情報フイルムは、他の4つのフイルムB3, B4, B5, B7によって示している。

【0066】上記立体静止画像の画像情報フイルムは、順次一對の組として記録されるようになっている (B1とB1R, B2LとB2R, B8LとB8R) が、例えば、上記ICカーブ15内において、任意の1つの画像情報フイルムを消去した後に空きエリアが形成されたときに、立体静止画像撮影モードにて撮影記録が行われたような場合には、この立体静止画像の画像情報フイルムは、順次一對の組として記録されないこととなる。即ち、図3において、画像情報フイルムB6LとB6Rで示すものである。

【0067】この場合において、立体静止画像を構成する2つの画像情報フイルムのうち一方のフイルムB6Lは、上述のように、消去後に形成された空きエリアに記録されることとなるが、他方の画像情報フイルムB6Lは、記録されている画像情報フイルムの最後部、もしくは、次の空きエリアに記録されることとなる。

【0068】このとき、上述したように、各画像情報フイルムのヘンダ部の情報部6 (図2参照) には、フイルム面画像情報に対する対情報等の情報が記録されているので、立体静止画像を複製に再生 (表示) することができるとなっている。

【0069】このように構成された上記電子カメラにおける再生時の詳細な動作について、以下に説明する。

【0060】上記電子カメラにおいて、上記ICカーブ15に記録された画像情報等を再生する場合には、まず、上記ICカーブ15に記録された画像情報等が上記カーブインデクサエース14に出力される。このとき、上記カーブインデクサエース14によって読み込まれる情報は、フイルム面画像信号の画像情報と、この画像情報に対応する左右識別情報、奇偶識別情報等が同時に読み込まれることとなる。そして、左右識別情報、奇偶識別情報等は、上記制御手段16へと出力され、この制御手段16を介して上記メモリコントロール11へと出力される。

【0061】これと同時に、上記カーブインデクサエース14を介した上記フイルム面画像信号は、上述したように、データ変換処理が行われるべく、圧縮/伸長 (回路) 13に出力され、この圧縮/伸長 (回路) 13においてデータ伸長処理が行われて、上記メモリコントロール11に出力される。

【0062】上記メモリコントロール11においては、上記圧縮/伸長 (回路) 13より、フイルム面画像信号

が入力されると共に、上記制御手段16より左右識別情報、奇偶識別情報等が入力されるので、この左右識別情報、奇偶識別情報等に基づいて、上記ICカーブ15から読み込んだ画像情報が、立体静止画像であるか、通常静止画像であるかどうかの識別、および、奇数フイルム面画像であるか、偶数フイルム面画像であるかどうかの識別等が行なう。

【0063】また、上記ICカーブ15から読み込まれた画像情報が、立体静止画像を構成する任意の一方のフイルム面画像情報であれば、上記対情報に基づいて、上記一方のフイルム面画像情報と相補的をなす他方のフイルム面画像が、ICカーブ15より続けて読み込まれることとなる。

【0064】そして、上記メモリコントロール11は、上記D/A変換 (回路) 6L, 6Rに対して左右の各フイルム面画像信号をそれぞれ出力し、これを上記映像表示手段20L, 20R、または、上記部品出力端子7L, 7Rに対して各別に出力することとなる。

【0065】このような構成とすることにより上記一実施例によれば、上記ICカーブ15内において、左右一對のフイルム面画像が別々の空きエリアに対して記録されることとなっても、各画像情報フイルムのヘンダ部に左右識別情報、奇偶識別情報、対情報等を併せて記録するようにしたので、上記ICカーブ15内において、画像情報等が順次一對の組に記録されていない場合においても、容易に識別を行なうことが可能である。

【0066】一方、電子カメラにおいて、「立体静止画像撮影モード」に設定し、撮影記録を行なって得られる立体静止画像を再生する場合には、2つのフイルム面画像信号が同時に出力されることとなるため、再生する立体静止画像の画像情報の精度が求められる場合、例えば、上記2つのフイルム面画像情報と比較する場合に、奇数フイルム面画像と偶数フイルム面画像とが異なって再生されてしまったとすると、通常のモニタにおける再生 (表示) 画面では、インターレース画像信号出力となるので、上下方向において1ライン分の位置ズレが発生してしまうという場合が考えられる。

【0067】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、上記切換SW18によって「立体静止画像撮影モード」に設定されて撮影記録が行なわれる際、上記記録制御手段である制御手段16は、上記メモリコントロール11を制御して、上記第1、第2の映像手段 (CCD 3L, 3R) から連続して出力される立体静止画像を構成するための各フイルム面画像のうちいずれのフイルム面画像も奇数フイルム面画像ないし偶数フイルム面に同じく限定したものを記録対象画像として、上記ICカーブ15へと記録するように制御している。

【0068】上記一実施例の電子カメラにおいて、上記切換SW18によって「立体静止画像撮影モード」に設定

されて撮影記録が行なわれる際の動作を、以下に簡単に説明する。

【0069】上記切換SW18によって「立体静止画像撮影モード」に設定された場合には、立体静止画像の撮影記録が行なわれる。このとき、上記CCD 3L, 3Rからは連続して立体静止画像を構成するための2つのフイルム面画像が、上記メモリコントロール11に出力されることとなる。

【0070】そして、上記メモリコントロール11は、設定されたフイルム面画像情報のみを圧縮/伸長 (回路) 13に対して出力し、この圧縮/伸長 (回路) 13において、入力されたフイルム面画像情報のデータ圧縮処理が行なわれる。

【0071】上記データ圧縮処理されたフイルム面画像情報等は、上記カーブインデクサエース14を介して、上記ICカーブ15に記録されることとなる。従って、このICカーブ15には、各フイルム面画像のうちいずれのフイルム面画像も奇数フイルム面画像ないし偶数フイルム面に同じく限定されたものが記録対象画像として記録されることとなる。

【0072】なお、図4は、上記電子カメラにおいて、画像情報を再生する際の表示画面上における奇数フイルム面画像および偶数フイルム面画像を概念的に示す図である。

【0073】このような構成とすることにより上記一実施例によれば、上記記録媒体であるICカーブ15内においては、画像情報等が空きエリアに対して順次記録されるようになっているので、空き容量を有効に利用することができるとなる。

【0074】また、上記切換SW18によって「立体静止画像撮影モード」に設定されて撮影記録が行なわれたときには、記録制御手段 (制御手段16) は、上記メモリコントロール11を制御して、上記第1、第2の映像手段 (CCD 3L, 3R) から連続して出力される立体静止画像を構成するための各フイルム面画像のうちいずれのフイルム面画像も奇数フイルム面画像ないし偶数フイルム面に同じく限定したものを記録対象画像として、上記ICカーブ15に記録するようにしたので、再生される画像情報は、上下方向における位置ズレを防止することができ、立体静止画像を良好に再生 (表示) することができるとなる。

【0075】また、上記一実施例の電子カメラにおいて、2つのフイルム面画像の画像情報を再生 (表示) するために2つの映像表示手段20L, 20Rが配設されている。従って、撮影記録が行なわれた後、即座に、記録された画像情報等を立体静止画像として上記映像表示手段20L, 20Rに再生 (表示) し、撮影結果を確認することができるようになっている。

【0076】つまり、上記ICカーブ15に記録された立体静止画像の画像情報等は、上述のように、上記メモ

リコントロール11において、選択された再生すべきフイルム面画像が立体静止画像を構成し得るフイルム面画像の一方に該当するものであるときには、上記対情報に基づいて、対となるフイルム面画像の画像情報と共に、上記D/A変換 (回路) 6L, 6Rに出力され、各別にフイルム面画像の画像情報等に交換される。そして、上記両フイルム面画像を対応する上記第1、第2の映像表示手段20L, 20R、即ち、右眼用の画像情報は映像表示手段20Lに、右眼用の画像情報は映像表示手段20Rに対してそれぞれに出力し、観察者に立体静止画像として表示されることとなる。

【0077】また、この電子カメラによって撮影記録が行なわれる際には、上記CCD 3L, 3Rにより得られる2つのフイルム面画像の画像情報は、上記メモリコントロール11を介して、上記D/A変換 (回路) 6L, 6Rに出力され、ここでアナログ信号に変換され、この2つのアナログ信号の画像情報は、同時に、右眼用の画像情報は映像表示手段20Lに、右眼用の画像情報は映像表示手段20Rに対してそれぞれ表示されることとなる。

【0078】このような構成とすることにより上記一実施例によれば、上記再生手段であるメモリコントロール11は、選択された再生すべきフイルム面画像が立体静止画像を構成し得るフイルム面画像の一方に該当するものであるときには、対情報に基づいて、対となるフイルム面画像と共に、両フイルム面画像を対応する上記第1、第2の映像表示手段20L, 20Rに左眼用および右眼用の画像情報等をそれぞれ出力し、観察 (鑑賞) に立体静止画像として表示するようにしたので、特別な装置を用いることなく、容易に立体静止画像の観賞 (鑑賞) を行なうことができる。

【0079】また、上記一実施例の電子カメラにおいて、上述したように、立体静止画像の撮影記録および再生を行なうことができると共に、上記切換SW18による切り換え操作を行なうことにより、通常静止画像の撮影記録を行なう「通常撮影モード」に設定し、また、通常静止画像の再生を行なう「通常再生モード」に設定することができるようになっている。

【0080】ここで、通常静止画像の撮影が行なわれる場合には、上記左右一對の撮影光学系および左右一對の撮像手段、即ち、上記CCD 3L, 3Rのうちいずれか一方の撮影光学系および1つの撮像手段 (CCD) によって画像信号を得るようになっている。従って、このとき得られる画像情報等は1つである。

【0081】また、上記ICカーブ15に記録されている通常静止画像の画像情報等、即ち、再生時に上記ICカーブ15からメモリコントロール11に読み込まれる画像情報等も1つのみであるが、図1に示すように、上記メモリコントロール11には、2つのD/A変換 (回路) 6L, 6Rが接続されており、また、再生画像を安

示する上記映像表示手段20L、20Rも左右一対の2つの映像表示手段が配設されている。従って、通常静止画像の再生画像はいずれか一方のみの表示となつてしまうこととなる。

【0082】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、「通常再生モード」に設定されているときに、選択された再生すべきフイールド画像が「通常撮影モード」に基づきフイールド画像に該当するものであるときには、当該フイールド画像を上記第1、第2の映像表示手段の双方に出力（表示）するようになっている。

【0083】図6は、上記一実施例の電子カメラにおいて、「通常撮影モード」に設定された際の撮影記録時の動作を示すフローチャートである。

【0084】図6に示すように、まず、ステップS1において、上記切換SW18を通常撮影モードに設定する。すると、ステップS2において、上記制御手段（CPU）16は、この電子カメラの撮影モードが「通常撮影モード」に設定されたことを認識し、ステップS3において、上記制御手段16は、上記メモリコントロール11へ撮影モードの設定情報等を出力し、次のステップS4の処理に進む。

【0085】上記ステップS4において、メモリコントロール11は、通常静止画像の画像情報等、即ち、1つのフイールド画像情報、上記2つのD/A変換（回路）6L、6Rへ同時に出力し、ステップS6において、この2つのD/A変換（回路）6L、6Rは、上記デジタル信号の画像情報等をアナログ信号の画像情報等へとデータ変換処理を行ない、ステップS6において、この変換されたアナログ信号の画像情報等を、上記2つの映像表示手段20L、20R、または、上記2つの外部部（ビデオ信号）出力端子7L、7Rに出力（表示）して、一連のシーケンスを終了する（RETURN）。

【0086】このように構成することにより上記一実施例によれば、「通常再生モード」に設定されているときに、再生手段であるメモリコントロール11は、選択された再生すべきフイールド画像が「通常撮影モード」に基づきフイールド画像に該当するものであるときには、当該フイールド画像を上記第1、第2の映像表示手段の双方に出力（表示）することにより、観覧（鑑賞）者はその両眼によって、1つのフイールド画像による通常静止画像を、観覧（鑑賞）することができる。従って、画像情報等の観覧等を容易に行なうことができると共に、操作性の向上に寄与することができる。

【0087】また、上記一実施例の電子カメラにおいては、上述したように、立静止画像の撮影記録および再生を行なうことができるようになっているが、電子カメラ等によって撮影を行なう際に要求される画像情報等は、立静止画像のみであり、場合によっては通常静止画像が要求される場合も考えられる。

【0088】一方、上記一実施例の電子カメラにおいて

は、「立静止画像撮影モード」と「通常撮影モード」等の複数の撮影モードを用意すると共に、この撮影モードを切り換える切換SW18を配設して、これによって、「立静止画像撮影モード」と「通常撮影モード」とを任意に設定し、立静止画像と通常静止画像とを選択的に撮影することができる。さらに、再生時には、上記切換SW18を切り換えることで「立静止画像再生モード」と「通常再生モード」等の再生モードを設定することができるようにされている。

【0089】そして、撮影記録が行われた際に得られる画像情報フイールドに対して、被写体像等の画像情報と共に撮影モード等の撮影条件等の情報が記録されるようになっている。

【0090】さらに、上記電子カメラによって得られる画像情報等のうち、立静止画像は、2つのフイールド画像によって構成されるものである一方、通常静止画像は1つのフイールド画像によって構成されるようになっている。従って、立静止画像の2つのフイールド画像のうちいずれか一方のみを再生すれば、通常静止画像として再生することが考えられる。

【0091】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、上記ICカード16等に記録されている画像情報等の再生（表示）出力を行なうときに、上記切換SW18によって「通常再生モード」に設定されたときには、再生手段（メモリコントロール11）によって、選択された再生すべきフイールド画像が立静止画像を構成し得るフイールド画像の一方に該当するものであるとしても、当該フイールド画像を通常の再生出力として数定するようになっている。

【0092】図6は、上記一実施例の電子カメラにおける再生（表示）出力時の動作を示すフローチャートであって、立静止画像を通常静止画像として再生（表示）出力する場合の例示である。

【0093】図6に示すように、まず、ステップS11において、上記切換SW18の切り換え操作を行なうことにより、「通常再生モード」に切り換え設定を行なう。すると、ステップS12において、制御手段（CPU）16は、切換SW18によって、この電子カメラの再生モードが「通常再生モード」に設定されたことを認識し、ステップS13において、上記制御手段（CPU）16は、上記メモリコントロール11へ再生モードの設定情報等を出力し、次のステップS14の処理に進む。

【0094】上記ステップS14において、メモリコントロール11は、再生（表示）を行なう立静止画像を構成し得る2つのフイールド画像、例えば図3に示す立静止画像の画像情報フイールドB1L、B1Rのうち、の、いずれか一方のフイールド画像情報（例えば画像情報フイールドB1L）のみにて、上記ICカード16より読み込み、次のステップS15の処理に進む。

【0095】上記ステップS15において、メモリコントロール11は、上記一方のフイールド画像の画像情報フイールドB1Lを、上記2つのD/A変換（回路）6L、6Rに対して同時に出力し、ステップS16において、D/A変換（回路）6L、6Rによって、それぞれデジタル信号からアナログ信号へのデータ変換処理が行なわれ、次のステップS17の処理に進む。

【0096】そして、上記ステップS17においては、上記アナログ信号に変換された画像情報、上記2つの映像表示手段20L、20R、または、上記2つの外部部（ビデオ信号）出力端子7L、7Rに対して出力（表示）され、一連のシーケンスを終了する（RETURN）。

【0097】図7は、上記一実施例の電子カメラにおける再生（表示）出力時の動作を示すフローチャートであって、立静止画像を通常静止画像として再生（表示）出力する場合の別の例示である。

【0098】図7に示すように、まず、ステップS21において、上記切換SW18の切り換え操作を行ない「通常再生モード」に切り換え設定する。すると、ステップS22において、制御手段（CPU）16は、この電子カメラの再生モードが「通常再生モード」に設定されたことを認識し、ステップS23において、上記制御手段16は、カードインデックス14へ再生モードの設定情報等を出力し、次のステップS24の処理に進む。

【0099】上記ステップS24において、上記カードインデックス14は、再生（表示）を行なう立静止画像を構成し得る1つのフイールド画像、例えば図3に示す立静止画像の画像情報フイールドB1Lのみのフイールド画像情報について、上記ICカード15より読み込みが行なわれ、次のステップS25の処理に進む。

【0100】上記ステップS25において、上記カードインデックス14は、このフイールドB1Lを圧縮/伸長（回路）13に転送し、ステップS26において、圧縮/伸長（回路）13によるデータ伸長処理が行なわれた後、メモリコントロール11に出力されて、次のステップS27の処理に進む。

【0101】上記ステップS27において、メモリコントロール11は、1つのフイールド画像情報、即ち、通常静止画像であると認識し、ステップS28において、上記2つのD/A変換（回路）6L、6Rに対して同時に出力し、ステップS29において、D/A変換（回路）6L、6Rによって、それぞれデジタル信号からアナログ信号へのデータ変換処理が行なわれて、次のステップS30の処理に進む。

【0102】そして、上記ステップS30においては、上記アナログ信号に変換された画像情報、上記2つの映像表示手段20L、20R、または、上記2つの外部部（ビデオ信号）出力端子7L、7Rに対して出力（表示）され、一連のシーケンスを終了する（RETURN）。

【0103】このように構成することによって上記一実施例によれば、モード切換設定手段である上記切換SW18を、再生時に、再生モードに切り換え設定するようにして、上記ICカード16等に配設されている画像情報等の再生（表示）出力を行なう画像情報が立静止画像であるときに、強制的に通常静止画像として再生（表示）出力することができる。従って、同じ撮影被写体による画像との間の違いや、比較撮影が容易に可能となる。

【0104】また、上記ICカード16より画像情報等の読み出しを行なう際に、立静止画像の2つのフイールド画像の画像情報フイールドのうちいずれか一方の画像情報フイールドのみを読み出して、この1つの画像情報フイールドについてのみ、伸長処理等のデータ処理を行なえばよいこととなるので、画像情報等の再生処理速度の向上に寄与することができる。

【0105】ところで、立静止画像を再生（表示）したときに、撮影記録された被写体像によっては立体的な画像であることが判別しにくい場合がある。例えば、立静止画像の撮影時に、被写体等が手前側であり、背景との距離が離れたような状況の画像、即ち、目線にて遠近感があるときは、立静止画像が成立しやすいが、遠景の景色を撮影した場合、または、白物等の平面的な被写体等が画面全面に撮影されている場合等の状況では、遠近感のある良好な立静止画像としては、その成立が困難となる場合が考えられる。

【0106】このよう状況においては、「立静止画像撮影モード」によって撮影記録がなされた場合に得られる画像情報を再生（表示）するときに、撮影時の撮影モードが（立静止画像撮影モード）と「通常撮影モード」のいずれのモードによって、撮影されたかの判別がつかないという場合が考えられる。

【0107】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、画像情報の再生（表示）を行なう際に、再生される画像情報等の撮影モード等の撮影条件等を、上記映像表示手段6L、6R、または、外部出力端子7L、7Rに接続された外部表示装置等において画像情報等と共に表示することができるようになっている。

【0108】図8は、上記電子カメラにおいて、画像情報等の再生（表示）が行なわれている際の上記映像表示手段6L、6R等に表示される画像情報等の表示例を示すものである。

【0109】図8に示すように、上記映像表示手段6L、6Rの表示画面全体は、フイールド画像情報が表示されていると共に、この表示画面の一部において、この画像情報の撮影モード等の撮影情報、即ち、「立静止画像撮影モード」に設定されて撮影されたものであるか、または、「通常撮影モード」に設定されて撮影されたものであるかの撮影情報が表示部31において表示

されている。

【0110】なお、図8に示す表示例では、上記表示部31のうち、立体静止画像である旨の表示は「3D」で、また、通常静止画像である旨の表示は「2D」で示すようになっている。ここで、「2D」が仮表示（または、本文字表示等）等によって、再生されているフレイム画像情報が通常静止画像であることを表示している。

【0111】また、このときの画像情報等を再生（表示）する際に、上記映像表示手段6L、6R等の表示画面において、撮影モード等の撮影情報等を表示する際の動作を、以下に簡単に説明する。

【0112】まず、上記制御手段（CPU）16によって上記ICカード15内に記憶されている画像情報等が、カーボンターフエース14によって読み出される。このとき読み出される画像情報等の画像情報フレイムのヘッダ部には、上述したように、撮影モード等の撮影情報等が記憶されており、この撮影情報等は上記制御手段16に出力されるようになっている。

【0113】従って、上記制御手段16においては、上記撮影情報等に基づいて、再生（表示）される画像情報等が、立体静止画像であるか、通常静止画像であるかの判断がなされ、上記制御手段16は、上記判断結果の情報等をメモリコントローラ11へと出力し、このメモリコントローラ11において、上記制御手段16の判断結果の情報等に基づいて、例えば、撮影モード等を容易に判断することができるよう示す給電文字等からなるキヤラクタ情報を生成し、このキヤラクタ情報と画像情報とを混雑させて、D/A変換（回路）6L、6Rに出力し、ここで画像情報等のデータ変換処理を行った後、上記映像表示手段20L、20R等に再生（表示）が行なわれることとなる。このときの表示画面が、上述の図8に示すものである。

【0114】また、これと同時に、上記一実施例の電子カメラにおいては、撮影条件等の情報が、この電子カメラ本体上に記憶されている表示手段（LCD）19にも表示されるようになっている。

【0115】図9は、電子カメラにおける表示手段（LCD）19に撮影条件等の情報が表示されている場合の表示例を示すものである。

【0116】図9に示すように、上記表示手段（LCD）19の表示部32において、上述と同様に、立体静止画像である旨の表示「3D」、および、通常静止画像である旨の表示「2D」が表示されるようになっている。ここで、「2D」が仮表示（または、本文字表示等）等によって、再生されているフレイム画像情報が通常静止画像であることを表示している。

【0117】また、このときの表示動作、即ち、上記表示手段（LCD）19に撮影条件等の情報を表示させる際の動作について、以下に簡単に説明する。

【0118】まず、上記制御手段（CPU）16によって上記ICカード15内に記憶されている画像情報等が、カーボンターフエース14によって読み出される。このとき読み出される画像情報等の画像情報フレイムのヘッダ部には、上述したように、撮影モード等の撮影情報等が記憶されており、この撮影情報等は上記制御手段16に出力されるようになっている。

【0119】従って、上記制御手段16において、上記撮影情報等に基づいて、再生（表示）される画像情報等が、立体静止画像であるか、通常静止画像であるかの判断がなされることとなる。

【0120】そして、上記制御手段16は、上記判断結果の情報や他の撮影条件等の情報を、上記表示手段（LCD）19へと直接出力し、これに表示がなされることとなる。

【0121】このように構成することによって上記一実施例によれば、上記再生手段によって再生出力されている画像が表示される映像表示手段20L、20Rや表示手段（LCD）19等に対して、立体静止画像が、通常静止画像かを識別させるための情報等を表示するようにしたので、観衆（鑑賞）者は撮影条件等の情報を容易に識別することができる。

【0122】ところで、近年においては、電気製品全般について省電力化が進められており、電子カメラ等においても例外ではなく、例えば、撮像プロセス処理回路等の消費電力の低減化の要求があり省電力化が進められているが、充分であるとはいえない状況にある。

【0123】また、一般的なビデオカメラ等においても主電源であるバッテリー等の特性性を保持する必要がある。装置自体の消費電力の低減化を図る設計が重要視されている。

【0124】一方、上記一実施例の電子カメラにおいては、撮影記録に関する構成部材については、それぞれ2つの部材を有するようになっているために、一般的な通常静止画像を撮影する電子カメラ等と比較して、約2倍の消費電力が必要となることとなる。

【0125】即ち、この電子カメラにおいて「立体静止画像撮影モード」に設定して撮影を行なった場合には、上記2つの撮像手段であるCCD3L、3Rと、2つの撮像プロセス4L、4Rと、2つのA/D変換（回路）5L、5Rとを全て動作させる必要がある一方、1つのフレイム画像を得るようにはすればよいので、通常静止画像の撮影記録にあたっては、上記2つのCCD3L、3Rのうちのいずれか一方と、上記2つの撮像プロセス4L、4Rのうちのいずれか一方と、上記2つのA/D変換（回路）5L、5Rのうちのいずれか一方のみを使用することで、通常静止画像を得ることが可能である。【0126】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、「通常撮影モード」に設定して撮影を行なう場合は、

には、撮影記録に関する構成部材のうちのいずれか一方のみに対して給電を行ない、撮影に使用しない他方の構成部材への給電を停止するようにすることで、省電力化を行なうようになっている。

【0127】図10は、上記一実施例の電子カメラにおいて、「通常撮影モード」時の撮影記録動作を示すフローチャートであって、上記2つの撮像手段のうちのいずれか一方の撮像手段等への給電を停止する場合を示したものである。

【0128】図10に示すように、ステップS31において、まず、上記切換SW18（切換手段）によって、撮影モードを「通常静止画像撮影モード」に設定する。すると、ステップS32において、上記制御手段（CPU）16は、この電子カメラの撮影モードが「通常撮影モード」に設定されたことを認識し、ステップS33において、制御手段16は、上記電源部17に対して、その旨の情報を出力し、次のステップS34の処理に進む。

【0129】上記ステップS34において、上記電源部17は、この撮影モード等の撮影情報等に基づいて、上記給電制御回路22を制御して、上記2つのCCD3L、3Rのうちのいずれか一方と、このCCDに对应する上記2つの撮像プロセス4L、4Rのうちのいずれか一方と、上記2つのA/D変換（回路）5L、5Rのうちのいずれか一方への電力の供給を停止（OFF）して、一連のシーケンスを終了する（RETURN）。

【0130】このように構成することにより上記一実施例によれば、上記切換SW18によって「立体静止画像撮影モード」が設定されているときには、上記第1、第2の撮像手段（CCD3L、3R）等に対して共に給電を行なう一方、「通常撮影モード」に設定されたときには、給電制御手段である上記給電制御回路22によって、少なくともいずれか一方の撮像手段に対して給電を行なうようにしたので、一般的な通常静止画像を撮影する電子カメラ等と同レベルの消費電力とすることが可能となり、装置の省電力化に寄与することができ。

【0131】ところで、「立体静止画像撮影モード」に設定して撮影を行なう場合には、2つのフレイム画像を同時に得る必要があるため、立体静止画像を撮影するための電子カメラにおいては、上述のように、2つの撮影光学系等を有するようになっている。そして、この電子カメラが「立体静止画像撮影モード」に設定された場合には、上記2つの撮影光学系等は同一の被写体に対して同時に動作するように設定されている必要がある。例えば、撮影記録に先立って、所望の被写体までの距離を測定（測距）し、焦点調節を行なう場合には、上記2つの撮影光学系を同時に動作させる必要がある。

【0132】一方、近年において、一般的に普及されている通常のビデオカメラ等については、その撮影光学系において自動的に測距および焦点調節を行なうようにし

た自動焦点調節機構を有するものが実用化されている。

【0133】このような自動焦点調節機構を、上記一実施例の電子カメラに適用する場合には、上記2つの撮影光学系について、2つの自動焦点調節機構が必要となるが、2つの撮影光学系のそれぞれを、2つの自動焦点調節機構によって制御するためには、制御手段における演算処理を同時に行なう必要がある。

【0134】そして、このときの演算処理結果に基づいて、レンズ制御（回路）等が上記撮影光学系を駆動制御することで焦点調節動作が行なわれることとなる。

【0135】つまり、立体静止画像を撮影する電子カメラの制御手段は、通常静止画像を撮影するカメラにおける自動焦点調節の演算処理と比較して、約2倍の演算処理を必要とするに、これらの演算処理を同一の時間内において行なわなければならない。従って、立体静止画像を撮影するためには、より高度な処理を行なうことのできる制御手段の処理能力が要求されることとなる。

【0136】そこで、上記一実施例の電子カメラにおいては、上記制御手段16の処理能力に依存することなく、「立体静止画像撮影モード」に設定された撮影が行なわれる際の自動焦点調節等の撮影光学系の制御動作を、短時間で確実に実行できるように形成されている。

【0137】つまり、上記第1、第2の撮影光学系のうちの一方の撮影光学系に対して上記自動焦点調節手段でもある制御手段（CPU）16によって得られた被写体までの距離（測距結果）等に関する情報に基づいて、他方の撮影光学系の焦点調節を行なうようになっている。

【0138】図11は、上記一実施例の電子カメラにおいて、「立体静止画像撮影モード」に設定されたときに、2つの撮影光学系を制御する際の動作を示すフローチャートである。

【0139】図11に示すように、まず、ステップS41において、この電子カメラの撮影記録手段である上記トリガ-SW23がオン（ON）状態とされることによりトリガ-信号が発生する。すると、ステップS42において、上記トリガ-信号を受けて、上記制御手段16において、上記トリガ-信号を受けて、上記制御手段16がレンズ制御（回路）12L、12Rに、12Rに自動焦点調節動作の制御を示し、ステップS43において、上記レンズ制御（回路）12L、12Rは、上記2つの撮影光学系を構成する左右対称の撮影レンズ1L、1Rのうちのいずれか一方のみを駆動制御して自動焦点調節動作を行ない、次のステップS44の処理に進む。

【0140】上記ステップS44において、上記一方のレンズ制御（回路）は、自動焦点調節動作によって得られた測距（距離）情報等を、制御手段16に出力し、これを受けて、ステップS46においては、上記制御手段16が、上記測距（距離）情報等を他方のレンズ制御（回路）に出力する。

【0141】そして、ステップS46において、上記測距（距離）情報に基づいて、上記他方のレンズ制御（回

23
[10142] 従って、一方の撮影光学系において自動焦点調節に関する処理を行なった後、この処理結果(測距情報)等に基づいて、他方の撮影光学系が駆動制御されることとなる。

[10143] このように構成することにより上記実施例によれば、上記第1、第2の撮影光学系のうち一方の撮影光学系に対して上記自動焦点調節手段でもある制御手段(CPU)16によって得られた被写体までの距離(測距結果)等に関する情報に基づいて、他方の撮影光学系の焦点調節を行なうようにしたので、自動焦点調節に関する処理を1回行なうだけで、2つの撮影光学系の焦点調節動作を、短い時間内において確実に行なうことができる。

[10144] [発明の効果] 請求項1に記載の発明によれば、立体静止画像と通常静止画像とを撮影モードの切り換え設定によって選択的に容易に行なうことができる。
[10145] 請求項2に記載の発明によれば、立体静止画像の撮影記録を行なうことができると共に、適用された被写体に記録を行なう際には、記録手段によって左右識別情報、フイールド奇偶識別情報、対情報等の撮影条件等を記録するようにしたので、再生時には、これらの情報を利用して、容易に立体静止画像の再生(表示)を行なうことができる。

[10146] 請求項3に記載の発明によれば、立体静止画像を構成するための各フイールド画像のうちいずれのフイールド画像も奇数ないし偶数フイールドに同じく限定したものを記録対象画像として記録するようにしたので、より高精度の立体静止画像の撮影記録および再生を実現することができる。
[10147] 請求項4に記載の発明によれば、カメラ本体の水平方向に2つの映像表示手段を並置するようにしたので、特別の装置を必要とせずに、容易に立体静止画像を再生(表示)させることができると共に、撮影記録後において即座に撮影結果の確認をすることができる。

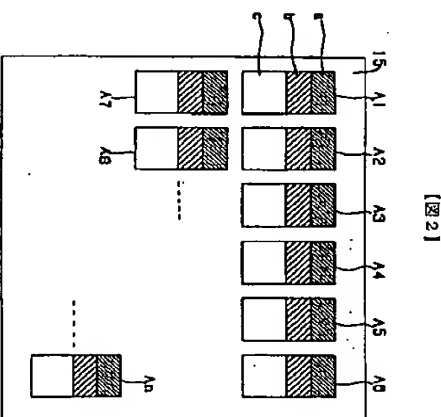
[10148] 請求項6に記載の発明によれば、選択された再生すべきフイールド画像が「通常撮影モード」に基づいたフイールド画像に該当するものであるときは、1つのフイールド画像を双方の映像表示手段に表示するようにしたので、観覧者は通常静止画像を両眼で確認することができる。
[10149] 請求項6に記載の発明によれば、選択された再生すべきフイールド画像が立体静止画像を構成し得るフイールド画像の一方に該当するものであっても、「通常再生モード」に設定することで、任意に再生モードの選択を行なうことができるようにしたので、立体静止

24
止画像の画像情報を通常静止画像としても再生することができる。

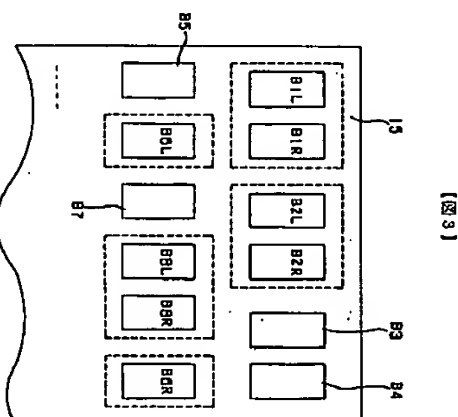
[10150] 請求項7に記載の発明によれば、再生されている画像情報に連動して撮影条件等の情報を同時に表示するようにし、または、カメラ本体の表示手段に撮影条件等の情報を表示するようにしたので、再生されている画像が立体静止画像であるか、通常静止画像であるか等の撮影条件等を容易に確認することができる。
[10151] 請求項8に記載の発明によれば、「通常撮影モード」時には、一方の映像表示手段に対して給電を停止するようにしたので、装置自体の低消費電力化を図ることができ。

[10152] 請求項9に記載の発明によれば、「立体静止画像撮影モード」時において、2つの撮影光学系のうち、一方の撮影光学系に対して自動焦点調節を行ない、この測距結果等の情報に基づいて、他方の撮影光学系の焦点調節を行なうようにしたので、自動焦点調節に関する処理を簡略化すると共に、構成部材の簡略化に寄与することができる。
[10153] 以上述べたように本発明によれば、立体静止画像と通常静止画像の撮影記録を選択的に行なうことができると共に、このとき得られる各画像情報等を単一の記録体において直在する形で記録を行なうことができるようにし、また、立体静止画像の撮影記録によって得られる左右一方の画像情報等について、より高精度で良好な立体静止画像を得るようにした電子カメラを提供することができる。

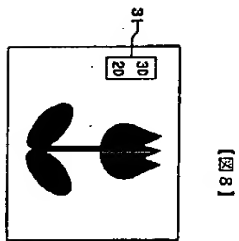
[図面の簡単な説明]
[図1] 本発明の一実施例の電子カメラの構成構成を示すブロック構成図。
[図2] 上記図1の電子カメラに適用される記録体であるICカード内における画像情報等の記録状態を概念的に示す図。
[図3] 上記図1の電子カメラのICカードに対して画像情報等を記録した際の記録状態を概念的に例示した図。
[図4] 上記図1の電子カメラにおいて、画像情報を再生する際の表示画面上における奇数フイールド画像および偶数フイールド画像を概念的に示す図。
[図5] 上記図1の電子カメラにおいて、「通常撮影モード」に設定された際の撮影記録時の動作を示すフローチャート。
[図6] 上記図1の電子カメラにおける再生(表示)出力時の動作を示すフローチャートであって、立体静止画像を通常静止画像として再生(表示)出力する場合の例示。
[図7] 上記図1の電子カメラにおける再生(表示)出力時の動作を示すフローチャートであって、立体静止画像を通常静止画像として再生(表示)出力する場合の別の例示。



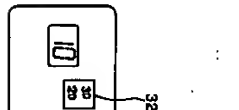
[図2]



[図3]



[図8]



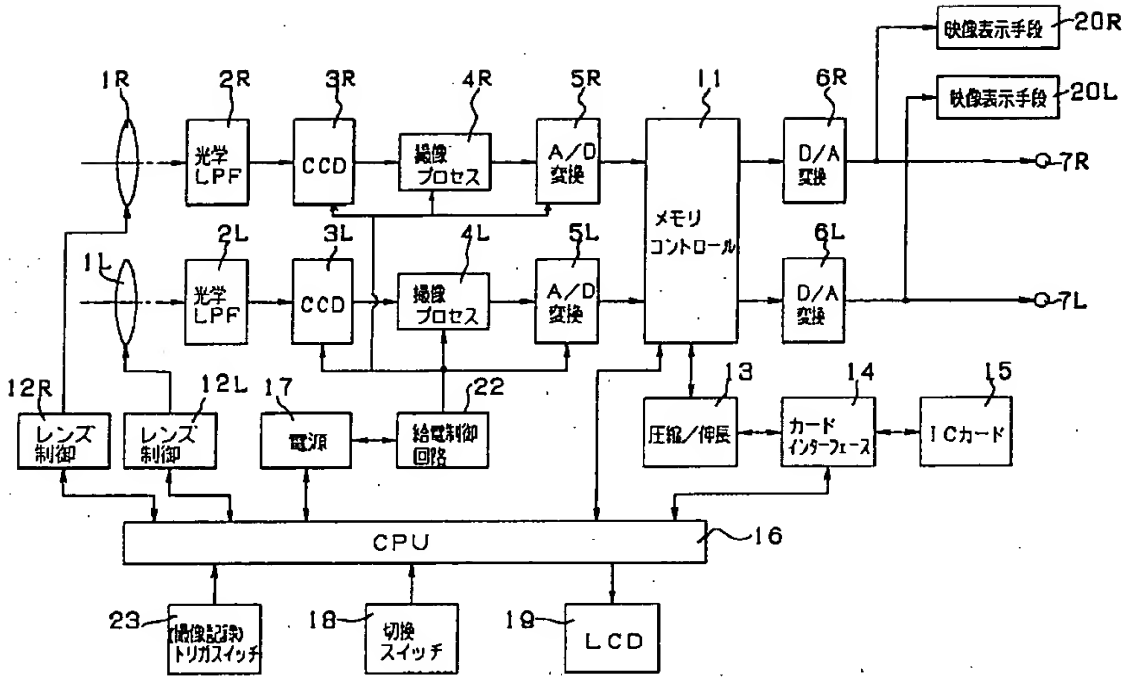
[図9]

[図8] 上記図1の電子カメラにおいて、画像情報等の再生(表示)が行なわれている際の映像表示手段等に表示される画像情報等の表示例を示す図。
[図9] 上記図1の電子カメラにおける表示手段(LCD)に撮影条件等の情報が表示されている場合の表示例を示す図。

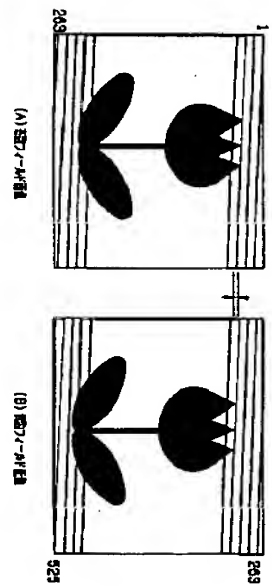
[図10] 上記図1の電子カメラにおいて、「通常撮影モード」時の撮影動作を示すフローチャートであって、2つの撮影手段のうちいずれか一方の映像表示手段への給電を停止する場合の例示。
[図11] 上記図1の電子カメラにおいて、「立体静止画像撮影モード」に設定されたときに、2つの撮影光学系を制御する際の動作を示すフローチャート。

[符号の説明]
1L, 1R……左眼用、右眼用の撮影レンズ(第1、第2の撮影光学系)
2L, 2R……左眼用、右眼用の光学LPF(第1、第2の撮影光学系)
3L, 3R……第1、第2の撮像素子(CCD;第1、第2の撮像素子)

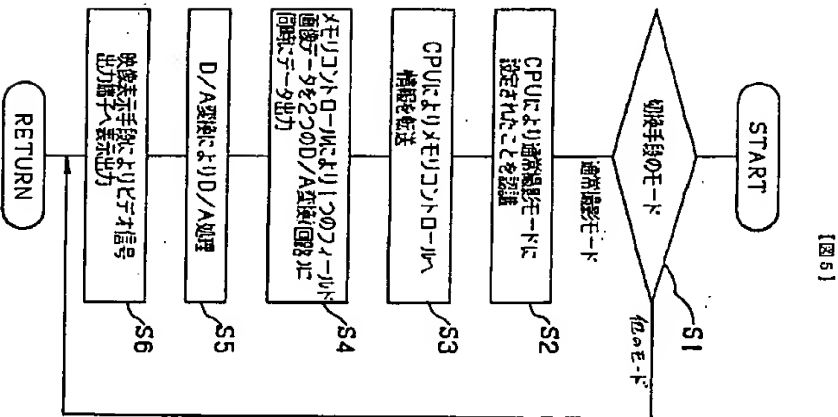
第2の撮像素子)
4L, 4R……撮像プロセス(第1、第2の撮像素子)
5L, 5R……A/D変換回路(第1、第2の撮像素子)
6L, 6R……D/A変換回路
11……メモリコントロール(再生手段)
12L, 12R……レンズ制御回路(自動焦点調節手段)
13……駆動/伸張回路(駆動手段)
14……カーボインターフェース
15……ICカード(記録体)
16……制御手段(CPU;記録制御手段、自動焦点調節手段)
17……電源
18……切替スイッチ(SW;モード切替設定手段、切換手段)
19……表示手段(LCD)
20L, 20R……第1、第2の映像表示手段
22……給電制御回路(給電制御手段)



【図1】

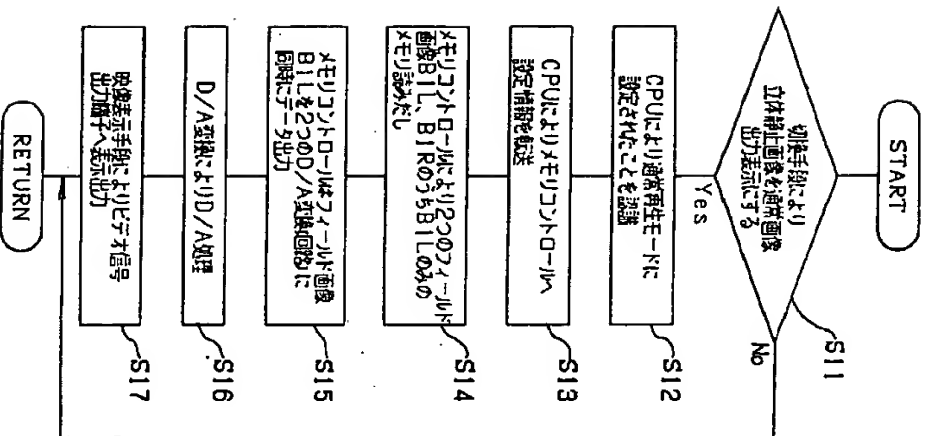


【図4】

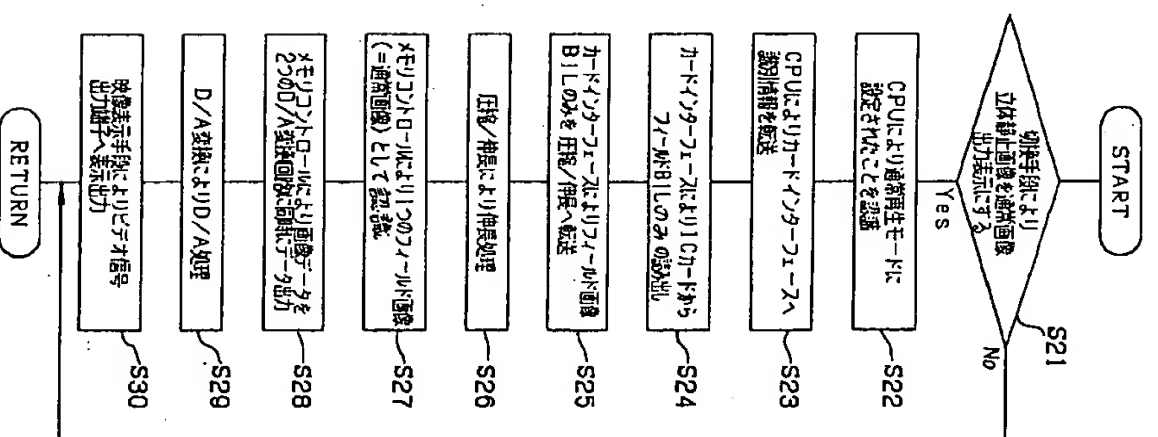


【図5】

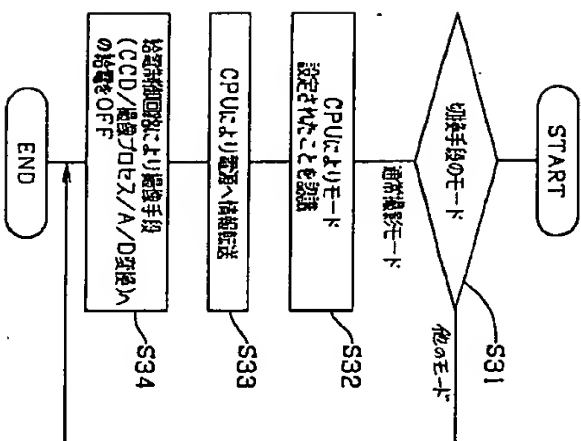
【図6】



【図7】



【図10】



【図11】

